



レビューとテスト

この2日間のコースでは、下記の内容を学びます。

- レビュー技法を実装する
- 品質計画とテスト文書の内容を定義する
- 様々なテストフェーズを実行し、その有効性を測定する
- 技法を用いて単体テストを実施する
- 試験可能性と防衛的コーディングを確保するためにコードチェックを取り入れる

■ コースの目的

このコースでは、次のことを学びます。

- 効果的なレビュー技法を導入する
- 欠陥除去のすべての側面を網羅した品質計画の内容を定義する
- 各種テストの目的を理解する
- 有意義な欠陥除去マトリクスを定義し、導入する
- テスト技法の基礎知識を得る

■ コースの成果

コースに参加すると、下記の効果が得られます。

- レビュー技法の改善
- 品質計画とテスト文書の明確な定義
- 様々なテストフェーズの有効性向上

■ コース形式

演習をはさみながらプレゼンテーションを行います。コース教材は、プレゼンテーション資料、その他追加資料になります。

■ 対象者

- プロジェクトマネージャ
- テストの計画、実施を担当する要員

■ コース内容

品質計画

- 品質計画の使用および推奨される内容

レビュー技法

- レビューの効果
- ピアレビュー、ウォークスルー、インスペクション

試験可能性のための設計

- ユーザ要件
- 非機能要件をテスト可能にする
- 構造化設計
- テストの観点から見た良い設計と悪い設計

テスト

- ソフトウェアテストの不可欠要素
- テストの目的
- 単体テスト、結合テスト、システムテスト、リグレッションテスト

テスト技法

- ブラックボックステストとホワイトボックステスト
- ステートメント網羅
- 互換性テスト
- 条件網羅
- 同値分割と限界値分析
- 性能テスト、ランダムテスト、回復テスト、信頼性テスト、過負荷テスト、量的テスト

テスト計画

- 各段階で必要とされる様々なテスト計画
- テスト計画の作成
- テストの記述

テストツール

- テストで用いられる様々なテストツール、長所と短所
- ツールの選定